

NY マーケットレポート (2014 年 10 月 2 日)

NY 市場では、米製造業受注が市場の予想以上に大きく悪化したことや、欧米の株価が大きく下落したことを受けて、投資家のリスク回避の動きが強まり、比較的安全資産とされる円を買う動きが優勢となった。円は、大半の主要通貨に対して上昇する動きとなった。ただ、その後は、株価が下げ幅を縮小する動きとなったことから、ドル円・クロス円は終盤に値を戻す動きとなった。注目されたドラギ ECB 総裁の会見では、ECB が証券を購入する計画について購入規模を詳細に示さなかったことから、バランスシートがユーロを押し下げるほど膨張するとの見方が後退し、ユーロが主要通貨に対して上昇する動きとなった。

2014/10/2 (木)

TOKYO	東京終値	東京高値	東京安値
USD/JPY	108.84	109.12	108.56
EUR/JPY	137.38	137.71	137.33
GBP/JPY	176.28	176.66	176.11
AUD/JPY	95.59	95.81	95.00
EUR/USD	1.2626	1.2675	1.2614

LONDON	LD高値	LD安値
USD/JPY	108.86	108.33
EUR/JPY	137.52	136.95
GBP/JPY	176.30	175.28
AUD/JPY	95.63	95.20
EUR/USD	1.2651	1.2617

*LD高安は東京クローズ～NYオープンまでの高安

アジア主要株価	終値	前日比
日経平均	15661.99	-420.26
ハンセン指数	休 場	
上海総合	休 場	
韓国総合指数	1976.16	-15.38
豪ASX200	5297.71	-36.42
インドSENSEX指数	休 場	
シンガポールST指数	3228.71	-35.38

*中国市場は国慶節、インド市場はMahatma Gandhis Birthdayのため休場

欧州主要株価	終値	前日比
英FT100	6446.39	-111.13
仏CAC40	4242.67	-122.60
独DAX	9195.68	-186.35
ST欧州600	332.05	-8.17
西IBEX35指数	10418.10	-335.10
伊FTSE MIB指数	19894.88	-811.43
南ア 全株指数	48189.06	-685.97

NEW YORK	NY終値	NY高値	NY安値
USD/JPY	108.42	108.90	108.02
EUR/JPY	137.33	137.64	136.87
GBP/JPY	175.03	175.76	174.33
AUD/JPY	95.47	95.52	94.89
NZD/JPY	85.68	85.74	85.06
EUR/USD	1.2668	1.2699	1.2615
AUD/USD	0.8807	0.8827	0.8765

米主要株価	終値	前日比
米ダウ平均	16801.05	-3.66
S&P500	1946.17	+0.01
NASDAQ	4430.20	+8.11
その他主要株	終値	前日比
カナダトロント総合	14760.64	-44.80
ロシアボルサ指数	44254.43	-110.53
ブラジルボベスパ指数	53518.57	+660.14

10/3 経済指標スケジュール

08:30 【豪】9月AiGサービス業指数
 10:00 【中】9月非製造業PMI
 11:30 【香港】9月購買部景気指数
 16:00 【トルコ】9月生産者物価指数
 16:00 【トルコ】9月消費者物価指数
 16:50 【仏】【独】【欧】【英】9月非製造業PMI
 17:00 【ノルウェー】9月失業率
 18:00 【欧】8月小売売上高
 21:30 【米】9月失業率
 21:30 【米】9月非農業部門雇用者数
 21:30 【米】8月貿易収支
 21:30 【カナダ】8月国際商品貿易
 23:00 【米】9月ISM非製造業景況指数

コモディティー	終値	前日比
NY GOLD	1215.10	-0.40
NY 原油	91.01	+0.28
CMEコーン	322.75	+1.50
CBOT 大豆	924.50	+7.75

米国債利回り	本 日	前 日
2年債	0.53%	0.52%
3年債	0.99%	0.97%
5年債	1.70%	1.68%
7年債	2.14%	2.10%
10年債	2.44%	2.39%
30年債	3.15%	3.10%

10/3 主要会議・講演・その他予定

・独市場休場 (German Unity Day)

NY 市場レポート

欧州市場

20 : 45

≪ 経済指標の結果 ≫

欧州中銀 政策金利発表 0.05% (予想 0.05%・前回 0.05%)

中銀預金金利 -0.20% (予想 -0.20%・前回 -0.20%)

限界貸出金利 0.30% (予想 0.30%・前回 0.30%)



(出所:ブルームバーク)

21:00

ドル/円 108.78 ユーロ/円 137.43 ユーロ/ドル 1.2631

21:00

欧州株式市場・米株価指数先物

欧州主要株価	株価	前日比	米株価先物	株価	前日比
英 FT100	6552.77	-4.75	ダウ INDEX FUTURE	16744	+4
仏 CAC40	4361.24	-4.03	S&P500 FUTURE	1942.60	+1.80
独 DAX	9397.96	+15.93	NASDAQ FUTURE	3986.50	+4.00

(出所:SBILM)

21:30

◀ 経済指標の結果 ▶

新規失業保険申請件数 28.7 万件（予想 29.7 万件・前回 29.5 万件）
前回発表の 29.3 万件から 29.5 万件に修正

失業保険継続受給者数 239.8 万人（予想 242.5 万人・前回 244.3 万人）
前回発表の 243.9 万人から 244.3 万人に修正



（出所：ブルームバーグ）

経済指標データ

◀ 新規失業保険申請件数・継続受給者数 ▶

申請件数	前週比	4 週移動平均	受給者数	受給者比率	
14/09/27	287,000	-8,000	294,750	*****	
14/09/20	295,000	+14,000	299,000	2,398,000	1.8%
14/09/13	281,000	-35,000	299,750	2,443,000	1.8%
14/09/06	316,000	+12,000	304,250	2,432,000	1.8%
14/08/30	304,000	+6,000	303,250	2,492,000	1.9%
14/08/23	298,000	-1,000	299,750	2,478,000	1.9%
14/08/16	299,000	-13,000	301,000	2,528,000	1.9%
14/08/09	312,000	+22,000	296,000	2,502,000	1.9%
14/08/02	290,000	-13,000	293,750	2,549,000	1.9%

受給者数は集計が 1 週間遅れる

21 : 40

＜ 要人発言 ＞

ドラギ ECB 総裁～講演

- ・「ABS 買い入れに関する詳細を決定した」
- ・「10 月中旬からカバードボンド買い入れが可能に」
- ・「買い入れプログラム、少なくとも 2 年間継続」
- ・「買い入れはバランスシートにかなりの影響与える、資金調達を支援」
- ・「インフレ見通しは、全般的に抑制されている」
- ・「資産買い入れは金融政策スタンスを緩和する」
- ・「資産買い入れは、金利のフォワードガイダンスを強化する」
- ・「主要国間の金融政策スタンスの相違が拡大している」
- ・「新たな措置はインフレ期待の支援に」
- ・「購入プログラムで数字を上げることは困難」
- ・「緩やかな回復見通しに変更ない」
- ・「2015 年の見通しの前提になっている主な要因は注視が必要」
- ・「輸出への需要、世界経済の回復の恩恵を受ける見込み」
- ・「経済見通しに対するリスクは下向き」
- ・「景気回復、銀行融資や雇用情勢の不振に圧迫される見通し」

22 : 10

＜ 要人発言 ＞

ドラギ ECB 総裁～講演

- ・「格付け「BBB -」下回る国の ABS 購入へー慎重に」
- ・「為替レートは成長に重要だが、政策目標ではない」
- ・「回復は弱く、脆弱、まだらー経済は基本的に弱い」
- ・「購入規模として 1 兆ユーロ可能でも全額実施の保証ない」
- ・「資産購入に加え、TLTRO による影響もある」
- ・「金利をこれ以上下げられない」
- ・「発行および流通市場で資産購入へ」
- ・「ギリシャとキプロスの ABS 購入は条件付き」
- ・「ギリシャとキプロスのカバード債購入も条件付き」

22 : 33

米主要株価

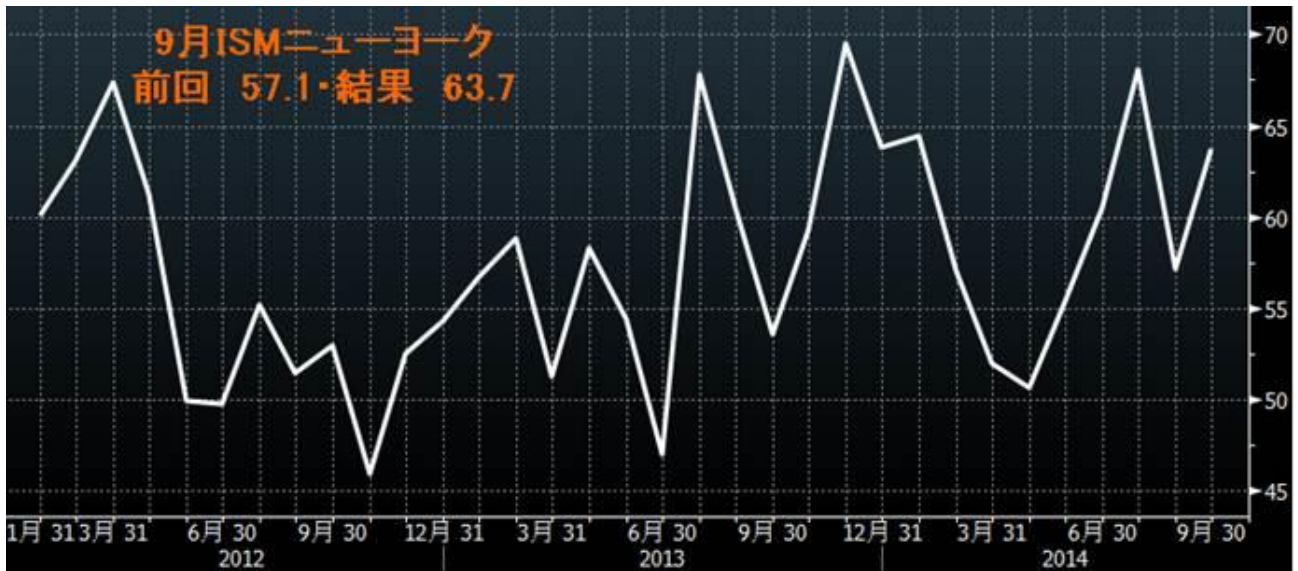
米主要株	株価	前日比
ダウ平均	16797.83	-6.88
ナスダック	4424.09	+2.00

(出所 : SBILM)

22 : 45

◀ 経済指標の結果 ▶

9 月 ISM ニューヨーク 63.7 (前回 57.1)

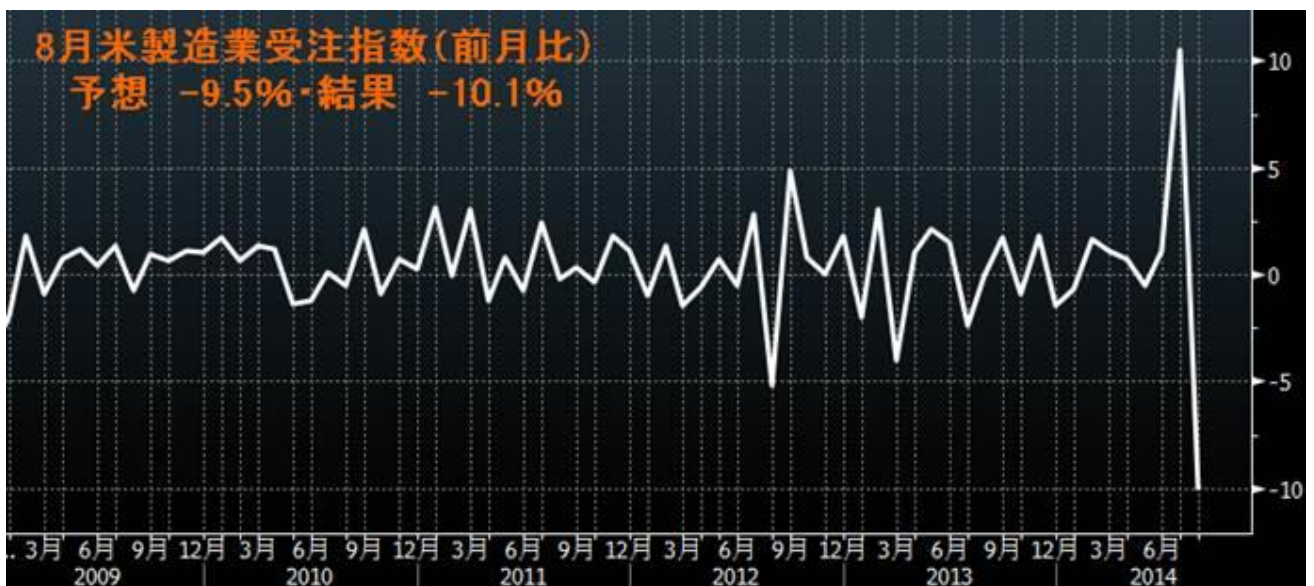


(出所:ブルームバーグ)

23 : 00

◀ 経済指標の結果 ▶

8 月米製造業受注指数 (前月比) -10.1% (予想 -9.5%・前回 10.5%)



(出所:ブルームバーグ)

指標結果データ

◀ 製造業新規受注指数 ▶

	8月	7月	6月	5月	4月	3月
新規受注	-10.1	10.5	1.5	-0.6	0.8	1.5
輸送機器を除く	-0.1	-0.7	1.4	-0.2	0.6	0.8
受注残	0.6	5.3	1.0	0.7	0.9	0.8
耐久財	-18.4	22.5	2.7	-0.9	0.9	3.7
輸送機器	-42.2	73.3	2.2	-2.6	1.8	5.2

23 : 30

《 NY 株式市場 序盤 》

序盤の株式市場は、8月の米製造業受注が市場予想より悪かったことを嫌気した売りが出る一方、前日の大幅下落により割安感が出た銘柄を買い戻す動きが出るなど、序盤から売り買い交錯するもみ合いの展開が続いている。

《 経済指標のポイント 》

(1) 米失業保険申請件数は、前週比-0.8万件的の28.7万件的となり、市場予想の29.7万件的を下回る結果となった。申請件数の4週移動平均は、前週比-4250件の29万4750人だった。また、集計が1週遅れる失業保険継続受給者数は、前週比-4.5万人の239.8万人となり、2006年6月17日までの週以来の低い水準となった。継続受給者数の4週移動平均は、前週比-2万人の244万1250人で、2006年11月11日までの週以来の低水準となった。受給者比率は、前週から横ばいの1.8%。

(2) 8月の米製造業受注は、前月比-10.1%の5020億700万ドルと、市場予想の-9.3%を下回る結果となった。輸送機器、特に民間航空機の受注が大きく減少したことが全体を押し下げた。輸送機器を除く受注は-0.1%となった。

①耐久財が-18.4%、非耐久財が-0.4%となった。耐久財のうち、輸送機器は-42.2%、特に民間航空機が-74.3%と、前月の大幅なプラスからマイナスに転じた。国防航空機は+0.2%、自動車・同部品は-5.4%だった。一次金属は+1.3%、電機・家電は+2.0%、一般機械は-0.9%、電算機・電子製品は-1.5%となった。

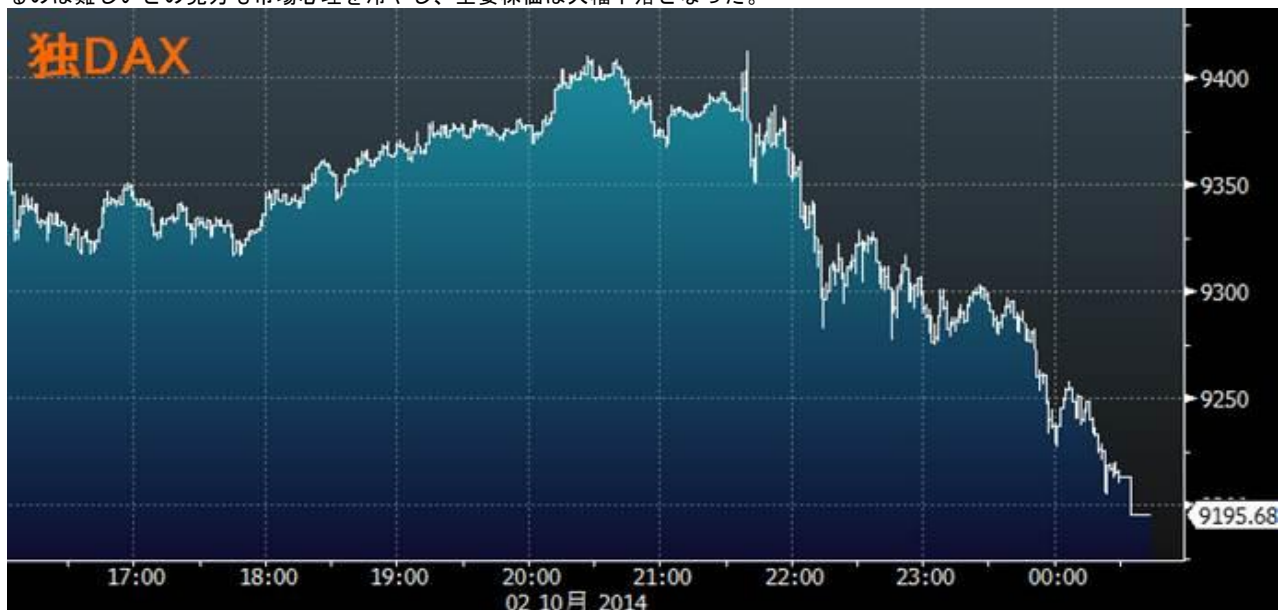
②資本財は-34.0%、うち国防関連を除く資本財が-36.4%となる一方、国防資本財は+5.4%となった。民間設備投資の先行指標となるコア資本財は+0.4%。製造業全体の出荷は-1.0%、受注残高は+0.6%、在庫は+0.1%となった。出荷に対する在庫の比率は1.30と前月から増加した。

欧州主要株価	終値	前日比
英 FT100	6446.39	-111.13
仏 CAC40	4242.67	-122.60
独 DAX	9195.68	-186.35
ストック欧州 600 指数	332.05	-8.17
ユーロファースト 300 指数	1335.11	-32.44
スペイン IBEX35 指数	10418.10	-335.10
イタリア FTSE MIB 指数	19894.88	-811.43
南ア アフリカ全株指数	48189.06	-685.97

(出所:SBILM)

《 欧州株式市場 》

欧州株式市場は、ECBの理事会の決定内容に失望した売りが優勢となった。そして、ECBが国債を買い入れる量的緩和策を導入するのは難しいとの見方も市場心理を冷やし、主要株価は大幅下落となった。



(出所:ブルームバーグ)

1 : 00

米主要株価・中盤

ダウ 16713.19 (-91.52)、 S&P500 1936.08 (-10.08)、 ナスダック 4381.18 (-40.91)

《 NY 債券市場 ・ 午前 》

序盤のニューヨーク債券市場は、米雇用統計の発表を控えて、長期債を中心に一旦のポジション調整の売りが先行した。また、米失業保険申請件数が市場予想より少なかったことも、売り材料となった。

午前の利回りは、30 年債が 3.13% (前日 3.10%)、10 年債が 2.41% (2.39%)、7 年債が 2.12% (2.10%)、5 年債が 1.67% (1.67%)、3 年債は 0.97% (0.97%)、2 年債が 0.51% (0.52%)。

《 欧州のポイント 》

①ECB は、ユーロ圏 18 カ国の金融政策を決める 理事会をイタリア南部ナポリで開き、主要政策金利であるリファイナンス金利を過去最低の 0.05% に据え置いた。また、上限金利の限界貸出金利も 0.30% に、下限金利の中銀預金金利も -0.20% に据え置いた。政策金利は事実上の下限に達しており、据え置きで様子を見る模様。

②スイス中銀のジョルダン総裁は、インタビューで金利は当面上昇しないとの見込みを示すとともに、スイスフランの上限を守るため、いつでも追加措置を講じる可能性があるとして述べた。スイス中銀は 3 年前、デフレやリセッションを防ぐ目的で、スイスフランの対ユーロ相場に 1.20 フランという上限を設定した。最近、経済に陰りが見え、スイスフランに再び上昇圧力がかかっている。そして、「引き続きフランの上限設定は、金融の適切な状態を維持するための柱となる手段である。フランの上昇は物価下落、デフレのリスクを著しく高めることになる」と語った。

③9 月の英建設業 PMI は 64.2 と、8 月の 64.0 から上昇し、1 月に記録した 64.6 以来の高水準となった。一方、新規受注と雇用の伸びは、コストの大幅増加や建設資材不足などから、4 カ月ぶり低水準を記録した。商業施設建設や土木部門は、これまで好調だった住宅建設に追いつきつつある。建設業の中で住宅建設部門が引き続き最も好調だが、その状況は変わりつつある、との指摘もある。

④EU 統計局が発表した 8 月のユーロ圏生産者物価指数は、前月比 -0.1% となった。原油安を背景とするエネルギー価格の下落が要因となった。前年同月比では -1.4% となり、3 月以来の大幅な下落となった。項目別では、重機などの資本財が前月比 +0.1% と唯一上昇した。エネルギーは -0.4%、耐久消費財、非耐久消費財はともに -0.1% となった。

⑤スペイン財務省は、2 種類の国債の入札を実施し、目標の上限となる 35 億ユーロ (44 億 3000 万ドル) を発行した。旺盛な需要があり、利回りは前回から低下し過去最低水準となった。入札したのは 2020 年償還債と 2024 年償還債。2020 年償還債は、発行額が 8 億 8000 万ユーロ、平均利回りが 0.963% (前回 1.422%)、応札倍率は 4.7 倍 (前回 3.2 倍)。2024 年償還債は、発行額が 26 億ユーロ、平均利回りが 2.075% (前回 2.272%)、応札倍率は 1.5 倍 (前回 1.8 倍) となった。

3 : 40

NY 金は、中心限月が前日比 0.40 ドル安の 1 オンス = 1215.10 ドルで取引を終了した。

4 : 20

NY 原油は、中心限月が前日比 0.28 ドル高の 1 バレル = 91.01 ドルで取引を終了した。

主要商品	終 値	前日比
NY GOLD	1215.10	-0.40
NY 原油	91.01	+0.28

(出所: SBILM)

《 NY 金市場 》

NY 金は、ドルが主要通貨に対して下落したことを受けて、ドルの代替資産とされる金の買いが先行した。しかし、その後は米雇用統計の発表を控えて利益確定の動きも見られ、マイナスで引けた。



(出所:ブルームバーグ)

《 NY 原油市場 》

NY 原油は、サウジアラビアがアジア向けの石油販売価格を引き下げたとの報道を受けて、供給過剰への懸念が強まり、売りが優勢となった。ただ、その後は米失業保険申請数が市場の予想に反して減少したことを受けて、米景気の先行き不安が後退し、買い戻しが優勢となった。また、早朝の序盤の時間外取引で一時、2013 年 4 月下旬以来約 1 年 5 ヶ月ぶりの安値水準となる 1 バレル=88・18 ドルに下落した。



(出所:ブルームバーグ)

主要株価	終値	前日比	高値	安値
ダウ平均株価	16801.05	-3.66	16857.25	16674.04
S&P500 種	1946.17	+0.01	1952.32	1926.03
ナスダック	4430.20	+8.11	4441.95	4367.74

(出所: SBILM)

《米株式市場》

米株式市場は、8月の米製造業受注が市場予想より悪かったことを嫌気した売りが出る一方、前日の大幅下落により割安感が出た銘柄を買い戻す動きが出るなど、序盤から売り買い交錯するもみ合いの展開となった。しかし、香港のデモ拡大観測や、エボラ失血熱に関する懸念を背景に、主要株価は大きく下落する動きとなった。しかし、引けにかけては下げ幅を縮小する動きとなった。ダウ平均株価は、序盤から軟調な動きとなり、一時130ドル安まで下げる動きとなった。ただ、終盤には一時プラス圏まで値を戻す動きとなったが、小幅安となった。ナスダックは小幅高で引けた。



(出所: ブルームバーグ)

主要通貨	NY 終値	NY 高値	NY 安値
USD/JPY	108.42	108.90	108.02
EUR/JPY	137.33	137.64	136.87
GBP/JPY	175.03	175.76	174.33
AUD/JPY	95.47	95.52	94.89
NZD/JPY	85.68	85.74	85.06
EUR/USD	1.2668	1.2699	1.2615
AUD/USD	0.8807	0.8827	0.8765

(出所: SBILM)

《外国為替市場》

外国為替市場は、欧米の株価が大きく下落したことを受けて、投資家のリスク回避の動きが強まり、ドル円・クロス円は軟調な動きとなった。ただ、午後には株価が下げ幅を縮小する動きとなったことから、ドル円・クロス円も終盤には値を戻す動きとなった。



(出所:ブルームバーグ)

提供: SBI リクイディティ・マーケット株式会社お客様は、本レポートに表示されている情報をお客様自身のためにのみご利用するものとし、第三者への提供、再配信を行うこと、独自に加工すること、複写もしくは加工したものを第三者に譲渡または使用させることは出来ません。情報の内容については万全を期しておりますが、その内容を保証するものではありません。また、これらの情報によって生じたいかなる損害についても、当社および本情報提供者は一切の責任を負いません。本レポートに表示されている事項は、投資一般に関する情報の提供を目的としたものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資にあたっての最終判断はお客様ご自身でお願いします。